

抗 KDM5A / RBP2 / JARID1A 抗体, マウスモノクローナル (18E8)

商品コード	71-177
容量	100 µg
保存	-20°C
濃度	1 mg/ml
バッファー	PBS- with 50% glycerol
純度	ハイブリドーマ培養上清から proteinA で精製した
抗原	ヒト RBP2 タンパク質、アミノ酸 No. 1416-1434 に相当する合成ペプチド
アイソタイプ	マウス IgG2a κ
反応性	ヒトおよびマウス RBP2。endogenous レベルの RBP2 を検出可能。
アプリケーション	1. ウェスタンブロッティング (~1ug/ml) 2. 免疫染色 3. Flow Cytometry
背景	RBP2 はもともと retinoblastoma binding protein として同定されたタンパク質である。 RBBP2 は KDM5A (Lysine-specific demethylase 5A)、 JARID1A (Jumonji, AT rich interactive domain 1A) としても知られる。 RBBP2 は RB(Retinoblastoma protein)-mediated transcriptional activation において、遺伝子の種類に応じてネガティブあるいはポジティブに働き、また自身の H3K4 histone demethylase としての機能により分化を制御している (文献 1、2、3)。
Data Link	UniProtKB P29375
文献	1. Lopez-Bigas N <i>et al</i> "Genome-wide analysis of the H3K4 histone demethylase RBP2 reveals a transcriptional program controlling differentiation." <i>Mol Cell</i> 31 : 520-530 (2008) PMID: 18722178 2. Klose RJ <i>et al</i> "The retinoblastoma binding protein BRP2 is an H3K4 demethylase." <i>Cell</i> 128 : 889-900 (2007) PMID: 17320163 3. Christensen J <i>et al</i> "RBP2 belongs to a family of demethylases, specific for tri- and dimethylated lysine 4 on histone 3." <i>Cell</i> 128 :1063-1076 (2007) PMID: 17320161
関連製品	#71-175 anti-RBP2/ JARID1A antibody, mouse monoclonal (9A6)
※本製品は研究用です。診断および軍事目的に使用することはできません。	

画像: 71-177 抗 KDM5A/RBP2/JARID1A 抗体、マウスモノクローナル(18E8)

図 1 18E8 抗体を用いて細胞粗抽出液においてウエスタンブロッティングを行い RBP2 タンパク質を検出

A. SDS-PAGE (CBB 染色)

B. ウエスタンブロッティング (ECL による検出)

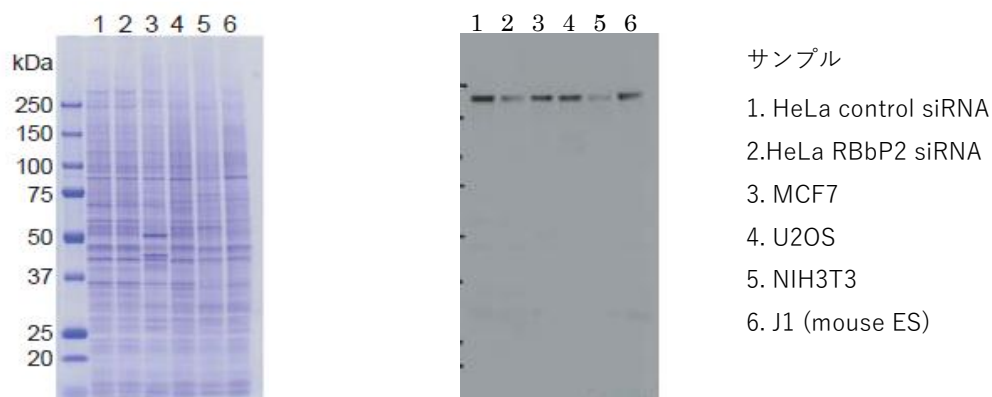
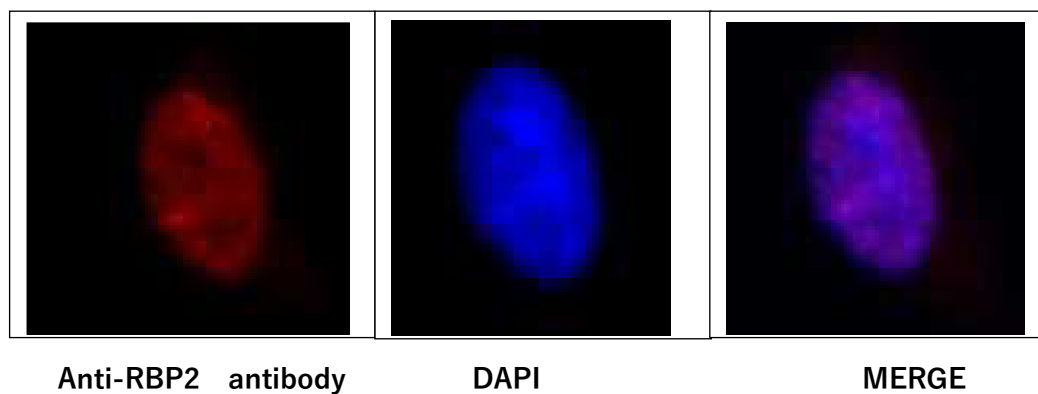


図 2 抗 RBP 抗体を用いた HeLa 細胞の免疫蛍光染色



1. HeLa 細胞は 4%パラホルムアルデヒドで一晩固定され、PBS 中の 0.25%Triton X-100 で 10 分間透過処理
2. 抗体の非特異的結合をブロックするために、1.5%BSA を含む PBS で 30 分間細胞をインキュベートした。細胞を 1%BSA を含む PBS で 1/2,000 に希釈した抗 RBP2 抗体(18E8)とともに 4°Cで一晩インキュベートした。
3. 1%BSA で 1/1,000 に希釈した Alex488 結合ヤギ抗マウス IgG 二次抗体で、室温で 1 時間細胞をインキュベートした。
4. 核(DNA)は DAPI で染色された。